

C&C コミュニケーション



Cure and Care
communication

第125号

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>



医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院

介護医療院 びる
介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい



社会福祉法人双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
居宅介護支援事業所

- ・ サロン・ド・ファミリーが
ナカムラ病院に戻ってきました! …… 2p
- ・ 日本野鳥の会から感謝状をいただきました …… 4p
- ・ PIAギャラリー
BOOSUKA作品展「描き残す」 …… 5p
- ・ 腰痛予防の取り組み「金メダル施設」認定! …… 6p





認知症カフェ「サロン・ド・ファミーユ」が六月二十日ナカムラ病院大ホールにて五年ぶりに開催されました。地域の住民の皆さまに加え、入院、入所している方たちも多く参加してくださいました。コロナの襲来を受け、出張型認知症カフェに生まれ変わって以来の開催にピアボイス、カフェスタッフ一同、感慨もひとしおです。

第一部では、栄養科科長の長村による「食生活と認知症予防について」の講話がありました。舞台上では、職員で構成されたピアボイスたちが、それぞれおじいさん、おばあさんを演じながら「脱水」「塩分」について寸劇を行

い、ドリフのコント顔負けの笑いあり、涙ありのパフォーマンスを披露しました。

いよいよ第二部の開幕です。緞帳が開いたと同時に、ひー坊が「東京ラプンディ」を熱唱し、客席側からは、にーにー、はじめ、かつちゃん、優ちゃんが「しゃんしゃん」を持ちながら華麗に登場！、まるで宝塚の再演を見ているようでした。

ゲストには、広島学友協会の林直之先生とチェロ奏者の宮本隆一先生が登場。今回のユニット名は『ピリーボンボン』、広島音楽界の貴公子として有名な？お二人の演奏を楽しみました。

内容も盛りだくさんで、サロン・ド・ファミーユ名物の早口言葉をピアボイスVSピリーボンボンチームに分かれ、客席の皆さんや職員と対戦方式で行い、お馴染みの「北国の春」体操に、タオルを使った「365歩のマーチ」最後は、学生服に衣装チェンジし、「高校三年生」を歌いながら客席と一緒にいつもの体操で盛り上がりました。

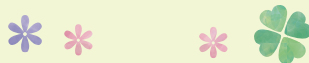
「楽しかったよ」「又、来るよ」と笑顔で帰られるお客さまを見送りながら、充実感たっぷり時間を

過ごさせていただきました。

当日は、もう一つのイベントである、広島アンデルセンのキッチンカーが来てくださり、「デンマークホットドッグ」や「焼きたてフィセルのハムチーズサンド」「芸北リンゴのミルクシエラート」など、病院玄関の前は、地域の方々や職員でとても賑わい最高の一日を過ごすことが出来ました。

今後も定期的に佐伯区各地の公民館をドサ回り？しながら、皆さまに会える日を楽しみにしています。

カフェスタッフK



長寿の秘訣

今回の「長寿の秘訣」は、ナカムラ病院に入院中の岡田隆子さまにお話を伺いました。



▲岡田隆子さま(100歳)

Q 長寿の秘訣はなんでしょ??

A 気を遣うことが一番じゃと思うんよね。兄妹も多かったしね。それと家でもいろんな事をする。遊んで暮らすということはないよね。

Q 百歳を迎えた今のお気持ちを聞かせてください

A いつのまに百歳になったかわからんよ(笑)。



棒体操もご覧の通り!

お子様の話になると思わず笑みがこぼれる素敵な岡田さま。優しく丁寧に答えてくださいました。また是非お話を聞かせてください。

ありがとうございます。

Q 今まで一番嬉しかったことはどんなことですか?

A やっぱ子どもたちが皆いい子に育ったことよね。

家の事や田んぼの仕事でほったらかしで、みんなも大変じゃったろうと思うんだけど…。今も本当によくしてくれます。

畑通信

五月の上旬、B1病棟の入所者さま30名とトマト・オクラ・サツマイモの苗、アサガオの種を植え付けました。

畑作業の経験がある入所者さまに指導をして頂きながら、無事植え付けすることができました。「子供の頃、母と一緒に育てていたのを思い出した」「成長が楽しみ」等、皆さん笑顔でいきいきと参加されていました。可愛い苗や種達が、元気にスクスク育つことを入所者さま・職員共に心待ちにしています。

介護医療院ひいろ

作業療法士 村方 裕美子



美味しく育つといいね~!



陽光ふぁみりー

折ってつなげて
一つの作品に

気付けば今年も折り返しとなる七月を迎え、すでに夏本番を思わせる日々が続いています。そうした中、折り紙制作に意欲的に取り組まれ、折られている入所者様がいっぱいいます。

最初に挑戦されたのは「くす玉」です。「久しぶりだから忘れた」とお話しされていましたが、動画を見ながら少しずつ工程を思い出して、次第に集中して積極的に取り組まれるようになりました。



特別養護老人ホーム陽光の家

介護職

井田 梨奈
谷本 菜摘



べてを組み合わせると立派なくす玉が完成！「難しい」と言いながらも諦める事なく作業する姿勢は素晴らしいものでした。続いてはブロック折り紙による鶴の制作です。コピー用紙を折りやすい大きさに切って材料を準備し、初めの一つは職員と共に行い、二つ目からはご自身で作りに上げました。作業中には真剣な表情の合間に笑顔も見られ、完成後は達成感に満ちた晴れやかな表情をされておられました。

現在、事務所前に展示させて頂いており、お越し頂いた皆様にご覧頂いております。今後も物づくりを楽しみながらご本人様の力を活かせるよう支援して参ります。

栄 養 の お 話

暑い夏を乗り切る食事のコツ

暑さにより疲労感やだるさを感じ、食欲がわかないなどの不調を感じる方も多いのではないのでしょうか。十分な栄養がとれていないと疲労回復が遅れ、さらに体調を崩してしまいます。食欲不振の際の食事のコツを紹介します。

- 胃液の分泌を促進して食欲を増進させてくれる香味野菜や香辛料を取り入れてみましょう。
- お酢や梅干し、柑橘類など酸味のある食材は暑い季節にもさっぱり食べやすく、食欲が増します。
- 弱っている胃腸に更に負担をかけてしまうので、冷たい物は摂りすぎないようにしましょう。

また、こまめな水分補給も忘れず暑い夏を乗り切りましょう。



ナカムラ病院 栄養科
管理栄養士 宇山 ほのか

日本野鳥の会から 感謝状をいただきました！

今年もナカムラ病院にツバメがやってくる季節になりました。日本では古くから「ツバメが巣をつくると縁起が良い」といわれ、大切にされてきました。近年ツバメは、自然環境の変化や巣をつくる場所の減少により、数が少なくなっています。ナカムラ病院では、職員が見守る中、毎年多くのツバメが子育てに励んでいます。日本野鳥の会では、ツバメの巣や生育環境を温かく見守っている企業・団体に感謝状を贈呈しており、この度ナカムラ病院が感謝状を贈呈されることになりました。これからも、ツバメを温

かく見守っていただけたいと思います。



ナカムラツバメ見守り隊



イラストレーター BOOSUKA作品展 「描き残す」

PIAギャラリーでは、令和七年五月十二日から九月十三日までBOOSUKA作品展「描き残す」を開催しております。

ブスカさんは、因島出身のイラストレーターで、中学の卒業文集には既に、商業デザイナーになると書かれていたそうです。大学で洋画・油絵を専攻後、デザイン事務所に就職しました。

ある日、ブスカさんの実家が立ち退きすることになりました。自分を育ててくれた実家・島・住民の方々の思い出を残したいと描き始めたのが、「描き残す」の始まりでした。



自分の町だけでなく、他の方々の思いも描き残したいと思うようになった中、因島市が合併するという話を聞き、因島市市制施工50周年記念事業に、自ら企画書を持ち込み、因島市の様々な記憶を描き残しました。

因島出身でありながら、なぜかあまり広島市と縁がなかったブスカさんは原爆資料館を訪れた時、広島市の情景が不思議と印象に残り、広島市で仕事をしたいと思ったそうです。そうして始まったのが、中国新聞で二年七カ月連載された「BOOSUKAのぷらぷら日記」。広島県を中心に中四国の観光スポットなどを描き残しています。

また、ブスカさんは犬猫保護の啓蒙活動として、Tシャツなどのグッズ販売も行っており、売上は全て保護団体の活動費となるそうです。懐かしくなるようなシーンを切り取った絵を見て、「この景色知ってる」「私、ここ行ったことあるんよ」などとコミュニケーションのキッカケになってくれれば嬉しいとブスカさん。皆さまざまピーアイエーギャラリーに足を運んで、昔話に花を咲かせてみませんか。

ナカムラ病院 事務部

広報担当主任 六田 雄大



動物福祉の啓発活動グッズ



心に響く
クリスタルボウル

四月二十八日、クリスタルボウル演奏会が当院で行われました。「鍼灸・整体ゆうゆう堂」さんによる出張ヒーリングです。

宇宙の中にいるような、お寺の鐘のような、体の芯に響く音で、ギャラリーや病棟が不思議な音に包まれました。

普段はソワソワしている患者さまが、じっと聞き入っていたり、音に合わせて体を動かししたり、手を合わせて拝んだり、演奏後に奏者の方に「ありがとう」と抱きついたり。患者さま・職員共に心を休める癒しのひと時となりました。とても素敵な演奏会でした！

ナカムラ病院 B7病棟

看護師 伊瀬 春輝



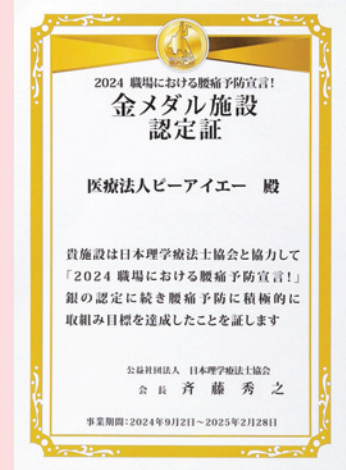
腰痛予防の取り組み

前年度当法人で行った腰痛予防の取り組みに、「2024職場における腰痛予防宣言!」(後援:厚生労働省)から、「金メダル施設認定証」をいただきました。

体操を促す放送が施設内で始まって1年弱、放送時だけでなく「始業時や気付いた時にもみんなで体操してます!」「オムツ交換にまわる前後にこれだけ体操をするだけでも違う。」「姿勢が良くなった。」との声もちらほら耳にするようになりました。

今年度もさっそく、腰に負担をかけないための体操や身体の動かし方を院内研修で練習しました。職員や患者さま・利用者さま、地域のみなさんの幸せ・優しさを少しでも支えられるよう、引き続き邁進してまいります。

医療法人ピーアイエー リハビリテーション科 理学療法士一同



▼姿勢の経過

始業時体操開始0カ月 → 3ヶ月 → 6ヶ月

▼腰痛予防研修の様子



A3. 医療業界のことが少しずつですが、分かるようになってきました。自分の尺度ですが、日々何かしら成長していると感じていることです。

Q3. やりがいを感じるのどのような時ですか？

A2. ミスなく正確な事務を心掛けています。報告物等は期限までには何が何でも間に合わせるようになっています。

Q2. 仕事をするうえで大切にしていることは何ですか？

A1. 勉強をした記憶がありません。とにかく朝から晩まで外で遊んでいました。

Q1. 小さい頃はどんな子どもでしたか？

シリーズでお届けしている各部署責任者へのインタビュー。今回は事務部 辰巳修民事務次長です。

スタンプインタビュー

★ありがとうございます。これから頑張ってください。★



A5. バイク好きの友人からツーリングに誘われているので、大型バイクの免許取得に挑戦したいです。

Q5. 今後の目標や挑戦したいことを教えてください。

A4. 孫と遊ぶことでリフレッシュしています。

Q4. リフレッシュ方法はありますか？



六月二十八日、広島オペラアンサンブルの皆さまによる演奏会が行われました。

広島オペラアンサンブルの皆さまには、毎年当院へお越しいただき、本格的なオペラと馴染みの曲を歌っていただいております。

この度披露された「虹」「手のひらを太陽に」では手話を交えて歌われ、患者さまも一緒に身体を動かしながら歌われました。自然と笑顔になり、皆が一体となり楽しむことができました。

また、劇場で公演予定の「カル

いきいき 行事だより

～オペラアンサンブル～



メン」の一節も披露してください、圧倒的な音量と本格的な演出に歌劇の世界に引き込まれました。

アンコールを含め一時間ほどの演奏会となりましたが、患者さまも非日常を楽しみむことができましたのではないのでしょうか。

いきいき委員では、これからも患者さま・入所者さまの楽しみや刺激となる行事を計画してまいります。

地域連携センター

いきいき委員

田中

麻子

いきいき行事ダイジェスト

4月

- お花見コンサート(陽光の家)
- 売店(陽光の家)
- おやつレク【いこい・つどい・ふれあい・ほほえみ】(陽光の家)
- お花見撮影会(まいえ1)
- お花見(B7)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- 花びら舞い飛ぶ春のゲーム大会(まいえ2)
- かるがものお引越し(にぎや家)
- どら焼きを作って食べよう(つばい)



5月

- 開設記念日(陽光の家)
- 売店(陽光の家)
- おやつレク【いこい・つどい・ふれあい・ほほえみ】(陽光の家)
- 菖蒲湯(まいえ1)
- 歌会(B6)
- みんなでパフェをつくりましょう!(つばい)
- おやつ会(A3)
- 昔なつかし童あそび(まいえ2)
- ベースボール大会「一緒にカーブを応援しよう」(にぎや家)



6月

- 売店(陽光の家)
- おやつレク【いこい・つどい・ふれあい・ほほえみ】(陽光の家)
- 選択食(陽光の家)
- 棒サッカー大会(まいえ1)
- お茶会(B6)
- みんなでピザパーティー(つばい)
- あじさいの会(B5)
- ドキドキ運試しチーム対抗ゲーム大会(まいえ2)
- にぎや家に世界のカエルが大集合(にぎや家)
- フルーツバイキング(まいえ1)



外来診療内容・時間ののご案内

当院では毎週月曜日〜金曜日、物忘れ外来診療を行っております。物忘れを主訴とする病氣、主に認知症について対応しております。

現在、認知症の根本的な治療法は見つかっておりません。しかし、適切な服薬管理を行い、在宅サービス等を導入しながら、その人らしい生活を続けていけることも多く、早期発見・早期治療が重要です。

気になる症状がありましたらご相談ください。診療は予約制のため、受診を希望される場合には事前にご連絡いただきますようによろしくお願いいたします。

●診療時間

毎週月曜日〜金曜日
【初診】9:00~12:00
【再診】9:00~12:00

※土日祝日は休診です。
※初診・再診ともに予約制です。

●予約電話番号

TEL: 082-923-8333

●受付時間

(平日) 8:30~18:30
(土曜日) 8:30~17:00

※すぐに対応できない場合は、折り返しさせていただくか、お掛け直しいただくことがあります。

佐伯区認知症初期集中支援事業

オレンジ支援チーム

医師、看護師など
医療・介護の専門
家チームがご自宅
訪問いたします

ご相談はお近くの 地域包括支援センターへ

キッチンカーがやってきた!!

職員福利厚生の一環として、五月十二日と二十二日、佐世保バスターのキッチンカーがナカムラ病院にやって来ました。

やってきたのは、創業昭和二十八年、佐世保バーガー名付けの親、キッチンカー稼働三十年のヒッチングポストさん。混雑による提供の遅れもありましたが、まるで病院のお祭りのよう! 病院玄関の中心にまで良い匂いが充満していました。待ちに待った佐世保バーガーは、濃い味付けではないのに、肉や野菜の旨味が強く感じられ、本当に美味しく、ハンバーガーの概念が変わるほどでした。

いつもの勤務先に、キッチンカーが来るだけでこんなに楽しい。近所の方も、お見舞いの方も一緒に、楽しく、笑顔でハンバーガーを頬張りました。たまにはこんなイベントもあるナカムラ病院なのでした。

ナカムラ病院 事務部

広報担当主任 穴田 雄大



今月号の表紙のご紹介

ナカムラ病院には毎年ツバメがたくさんのお巣を作ります。親鳥は忙しそうにえさを運んだり、ヒナの飛ぶ練習を心配そうに見守ったりと、人間の子育てと通ずるものがあるなど微笑ましく見守っていました。

写真には四羽のヒナが写っていますが、七月下旬には一羽だけが残っていました。そして八月に入ると、その一羽も無事に巣立って行きました。来年も可愛いツバメの姿を見られることを楽しみにしています。

編集長

編集後記

私事ですが、先日誕生日を迎えました。以前は、平成生まれというところ「若い!!」と驚かれたのですが、今やすっかり中堅になりました。疲れは抜けにくくなり、食べ過ぎればお腹にお肉がしっかりとつくようになりました。

衰えを感じることもありますが、その一方で、良い意味で気持ちに折り合いをつけながら過ごせるようになったことは、私にとって大きな成長ポイントです。これまた良い意味で自分を甘やかすことも大切しながら、日々のんびり頑張りたいものです。

(S)